

活動名 「水族館に泊まって海の生き物を観察しよう」

1. 日時 2023 年 8 月 26 日 (土) ~27 日 (日)

2. 場所 越前松島水族館

3. 内容

福井県内の施設「松島水族館」に宿泊し、海の生き物をじっくりと観察する時間を設ける。昨年からの海洋プラスチックゴミ問題に取り組んでいるが、海の生き物を大切にする心を養うことも大切な活動と考えている。今回は水族館に宿泊するという体験を通して、様々な生き物に興味を持ってもらいたい。これは SDGs の「海の豊かさを守ろう」に繋がる活動である。

4. 参加人数 32 名(高校生 1 名、中学生 1 名、小学生 21 名、リーダー 9 名)

5. 活動の様子



水族館に泊まった翌日の午前中は館内を自由観察しました。イルカショーを見たり、コツメカワウソを見に行ったり、ペンギンのお散歩を見たり、海の生き物に触れ合う二日間でした。



おそろおそろドクターフィッシュの水槽に手を入れてみたらたくさんの魚が寄ってきて皮膚をつついていました。とてもくすぐったい感触でした。



海洋館のガラスの床の水槽の上で。寝転んでいると海の中にいるような感覚になりました。



夜は海ホタルの発光について学習しました。海ホタルはどのようにして光るのか、どんな時に光るのかなどを知りました。また自分たちでも海ホタルの乾燥したものを使って発光を実験しました。



海洋館の水槽の前でシュラフをひいて寝ました。お魚と一緒に寝ている気分になりました。中には底に沈んで寝ているような魚もいて新しい発見でした。



朝、水族館が開園する前にバックヤード見学をしました。病気になった亀の治療やエサのやり方、どんなエサを食べるかなどを学びました。参加者は施設の方にたくさんの質問をしていました。



2日目の朝、生き物たちが朝ごはんを食べているところを見ることができました。ペンギンやアザラシなどは、とてもたくさんの魚を食べることがわかりました。

<参加者の感想>

- ・初めて水族館に泊まりました。おさかなが寝ているところを見ました。
- ・水そうの前に寝るのがとても楽しかったです。
- ・イルカショーが楽しかった。イルカはとっても高く飛ぶことができるのがわかった。
- ・コツメカワウソが小さくてかわいかった。
- ・海ホテルのことを初めて知った。自分のからだ光るのを見て驚いた。
- ・ズワイガニのいる水槽の水がすごく冷たくてびっくりした。

<ガールスカウト福井第28団の活動ブログ>

<http://gs-fukui28.jugem.jp/?eid=556>

6. 事業の成果

水族館での宿泊ということで、参加者はどんなところに泊まるのだろうとワクワクしていた。海洋館の大きい水槽の前に自分のシュラフで寝る体験は夏休みの楽しい思い出になったようだ。まるで魚と一緒に寝ているような気持になったと話してくれた。

生き物に直接ふれる体験や、どんな環境で生き物が生活しているのかを見たり学んだりすることによって、私たち人間が海の環境を守ることの大切さを感じてもらえたと思う。県内に水族館があることで身近にこのような体験することができるのは嬉しい。楽しい時間もしっかりと学ぶ時間もあるプログラムを水族館で提供していただき、子どもたちの興味や好奇心も多く感じる事ができた。